

一人で生きる人のために

生活権検証する会発足

单身けん・関西

「ひとりで生きるために、
 单身者の生活権を検証する
 会(单身けん)・関西」が
 このほど発足した。2カ月
 に1度例会を開き、親ほく
 を深め、家族がいらないこ
 から派生する問題や不安へ
 の対処など情報交換をして
 いく。

单身けんは1990年、
 石川由紀さん(54)が地元の
 東京・世田谷で結成。賃貸
 住宅に入居する際の保証人
 や緊急入院時の手続きの実
 態などを調べ、アドバイザー
 としてきた。会員は650人、
 うち関西は60人。10人の世
 話人を中心にこれから情報
 交換とともに関西での活動
 内容を固める。

差が大きく、匿名性の裏に
 寂しさがあったとしてもそ
 れを解消する集まりは成立
 しにくい。関西は親ほくを
 深める会にもなるのでは
 と期待する。

世話人の一人、フリーラ
 イターの吉田清彦さん(54)
 は「東京と大阪では人と人
 が付き合ううえでの距離感
 が違ったりする。でも、成
 年後見制度は大阪でも議論
 が出るでしょう」と話す。
 石川さんも「首都圏は個人
 单身けん・関西や講座へ
 女性が多い。」

の参加者を見ると、男性よ
 り女性の方が早くに確信を
 持ってシングルとしての生
 き方を選択・準備する傾向
 が浮かぶ。吉田さんは、「男
 性は高齢で妻に亡くなられ
 ば行政の援助システムを知
 らないこともあり、行政は
 一人暮らしの高齢者向けに
 どんな有益な情報を流す
 必要がある。民間が補完す
 るのも一つのあり方」と話
 している。次例会は4月
 18日午後1時半、クレオ大
 阪西(大阪市此花区西九条
 6)で。問い合わせは、益
 田さん(06・65883・1
 232)。【大西 康裕】